

総合福祉センター 内部評価結果（施設所管課による評価）

【評価対象施設】大東市立総合福祉センター

【指定管理者名】社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

【評価対象年度】令和4年度

【施設所管課名】福祉・子ども部 福祉政策課

業務内容について評価

条例・協定書・仕様書・事業計画に基づき、市民サービス向上を意識した施設運営を実施しており、適切に管理・運営しています。また、職員に向けて、施設・設備の操作研修や人権研修を行っており、施設運営にあたって必要となる知識の取得や能力向上に努めており評価できます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からカラオケが実施できない状況でしたが、感染防止対策を徹底しながら、利用者ニーズを満足させるべく創作的活動教室、足湯事業、緑化事業、健康チェック＆相談会事業、各種教養講座事業等を実施し評価できます。

建物について、適時、必要な修繕等を行い適正に維持管理しています。

利用者満足度について評価

自主事業を積極的に実施し、コロナ禍で減少した利用者数の回復につなげています。

災害時の福祉避難所における通信手段のひとつでもあるフリーWi-Fiの不安定箇所の改善を図り、利用者の利便性を向上させている。また、フリーWi-Fiを活用し、既存のテレビで様々な健康体操の無料動画の視聴を開始し利用者満足度を向上させており評価できます。

利用者の要望により、電動車いす置き場の自転車駐輪禁止のカラーコーン設置や、各種教室や一時避難所になっている作業室2におけるスポット冷房を設置しており、利用者のニーズに合わせた改善を図っていました。

利用者等からの要望について、職員間で情報共有・議論し、対策を講じたことにより施設利用者の利便性や満足度が向上しました。

収支状況について評価

適切に施設の維持管理を行っており、収支状況は良好です。

予算の範囲内で必要な修繕費用や器具・備品を購入するなど、予算の適正な運営に努めています。今後も施設を適切に管理運営するよう努めるとともに、ウィズコロナ・アフターコロナの状況を踏まえながら、独創的な提案を行い、引き続き効率的かつ効果的な施設運営に努めてください。

総合評価

福祉の増進と利用者サービスの向上を目指し各種の事業を行っていました。その結果、利用者数が増加しており評価できます。

災害等の緊急事態へ備えて防災訓練を2回実施しています。今後も、訓練の実施や職員への啓発により、素早い対応に努めてください。

環境に配慮した取り組みとして、省エネ取組計画を作成し、光熱水費の削減等に努めていることは評価できます。引き続き環境に配慮した取り組みを実施してください。

今後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策などの安心して利用できる環境づくりに努めるとともに、利用者アンケートの結果を分析して、利用者の満足度がさらに向上するような事業を展開するなど、市民サービスの向上を意識した施設運営をお願いします。